

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告掲載 URL http://cleanup.jp/
単元株式数	100株

【株式に関するお手続きについて】

- 証券会社等の口座に記録された株式
株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せください。
 - 特別口座に記録された株式
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
 - 未受領の配当金
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
- 【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 【同連絡先】
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711(通話料無料)



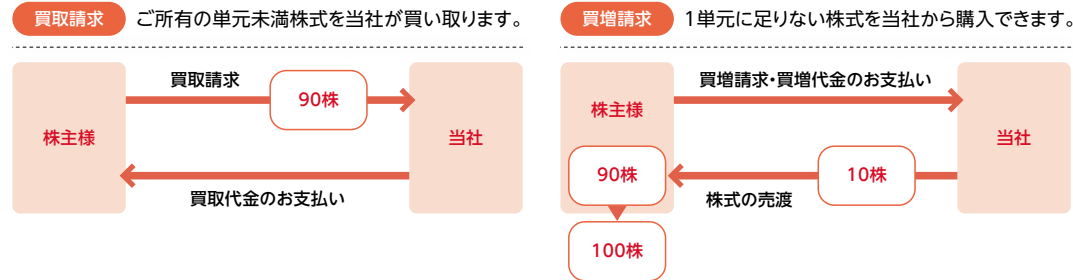
株主の皆さまへ 第64期 報告書

2016年4月1日から 2017年3月31日まで

■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式につきましては、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求または買増請求をすることができます。お手続きの方法等につきましては、口座管理機関(証券会社等または三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部)にお問合せください。

(例) 株主様が単元未満株式を90株ご所有の場合



■ 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座は証券会社等に開設された口座と異なり、自由な売買ができる口座ではありません。株式の売買等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めいたします。お手続きの方法等につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せください。

ごあいさつ

「新たなクリナップ」の創出へ

代表取締役会長
井上 強一



1987年の社長就任から30年、私は、「企業は社会に生かされる存在であり、社会の公器である」という信念のもと、「家族の笑顔を創る」という理念をかかげ、全社一丸となって邁進してまいりました。

そして2017年、激動する事業環境のなか、「新たなクリナップ」を築き上げ、さらなる未来に道をつけるために、社長交代を決意いたしました。今後、クリナップは、佐藤新社長の考え方やビジョンを全社で共有し、「新たなクリナップ」に向けた「変革」に取り組んでまいります。

株主の皆さまには、引き続き当社の経営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

クリナップの企業理念

クリナップは、創業60周年(2009年10月)を契機に、『第二の創業』に向けた新たな一歩を踏み出しております。

■ 企業理念

創業者理念「五心」

- 一、創業の心
- 一、親愛の心
- 一、創意の心
- 一、技術の心
- 一、使命の心

創業者理念 「五心」

企業理念 「家族の笑顔を創ります」

行動理念

1. 私たちは、心豊かな食・住文化を創ります
2. 私たちは、公正で誠実な企業活動を貫きます
3. 私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります

ブランドステートメント

キッチンから、笑顔をつくらう

事業としては「キッチンダントツNo.1」をめざす
お客様に対しては「キッチンの代名詞」としての評判をつくる

活動方針

上記三つの理念(創業者理念・企業理念・行動理念)に根ざした強い人材・組織・事業を育成することにより、経営を強化/高度化し、“The Kitchen Company”を確立します。

社長インタビュー

“現場ファースト”の視点で 「変革」に取り組む

井上会長との二人代表体制により、 強固な経営体制を築いてまいります。

2017年1月1日付にて、代表取締役 社長執行役員の任を拝命いたしました。身も心も引き締まる思いでございます。

私たちクリナップは、井上会長の言葉通り「社会に生かされている」のであり、だからこそ、社会が変化し求められるものも変わってくれば、それに応じて当社も変わっていかねばならないと思います。井上会長と共に強固な経営体制を築き上げ、「変えてはいけないこと」と「変えなければならないこと」をしっかりと見極めながら、新たなステージへと押し上げてまいります。

当期は利益改善を果たしましたが、 事業環境は依然厳しい状況にあります。

当期(2017年3月期)の連結業績は、微減収となったものの各段階利益はいずれも大幅な利益改善を果たすことができました。営業増益の主な要因は、原材料や原価低減に加え、販売費の圧縮にも努めたことによります。

ただ、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。新設住宅着工戸数の推移を見ると、2016年は確かに消費増税前

代表取締役
社長執行役員
佐藤 茂



の2013年の水準近くまで回復してきましたが、その主だった要因は賃貸住宅の伸びによるものであり、当社の主力マーケットである持家や分譲住宅の回復の足取りはまだ弱い状況にあるとともに、リフォーム需要の低迷も続いています。

2017年3月期の連結決算ハイライト

- 売上高は、システムキッチン[S.S.]が数量・金額とも増加した一方で「クリンレディ」が数量・金額とも減少したことなどから、前年同期比0.7%減となりました。
- 利益面では、営業利益が前年同期比76.1%増、経常利益が同106.9%増、親会社株主に帰属する当期純利益が同293.2%増と、各段階利益で大幅増益となりました。

社長インタビュー

厳しい事業環境に打ち克ち、「新たなクリナップ」を築くべく、「変革」を推し進めてまいります。

当社を取り巻く現在の厳しい事業環境に打ち克ち、「新たなクリナップ」を築き上げていくために、当社は今後、積極的に「変革」を推し進めてまいります。喫緊の課題として、私は、「変革」に向けた基盤づくりとして「経営資源の再配分」に取り組めます。

まずはじめに顧客接点の最前線である営業現場やショールームに重点を置いた人員構成へとシフトしてまいります。次に、販売促進活動に重点を置いてショールームの移転・リニューアルや各種プロモーションの展開を積極的に図ってまいります。これらの取り組みは現場を元気にします。その結果、従来よりもお客様の反応やニーズが見えるようになり、それが開発や生産の現場にも良い効果をもたらしてくれるといった“正のスパイラル”が生まれ、会社全体が元気になります。いわば、“現場ファースト”の変革こそが「新たなクリナップ」の創出につながるものと確信します。

こうした取り組みは、2015年度(2016年3月期)よりスタートした中期経営計画『15中計』の考え方と一致するものであり、私なりのやり方で、『15中計』が目指す「付加価値(収益)重視経営へ向けた変革」を推し進めてまいります。

これからも“感謝の心”を大切に、 ひたむきに仕事に向き合う“誇り”を持って、 「社会の公器」として歩み続けます。

私たちは、「新しいクリナップ」を創出するためにも、ある部分では大きく変わっても、同時に変わらない部分も持ち続けなければなりません。私たちは、これからも“感謝の心”を大切にし、ひたむきに仕事に向き合う“誇り”を持って、「社会のためによい製品を送り出す」取り組みに邁進してまいります。

株主の皆さまには、私たちクリナップの今後の歩みにご期待をいただき、引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

生産力の強化

西日本地区におけるシステムキッチンの自己完結生産体制の確立

付加価値重視経営へ向けた変革を実践

当社は、東日本大震災発生後に策定したBCP(事業継続計画)に則り、西日本生産拠点としてクリナップ岡山工業株式会社に対する生産設備の増強を進め、福島県いわき市に生産拠点を構える当社生産工場との東西生産二極化体制を整えてまいりました。

この度、より機動的な体制のもとで業務効率化に取り組み、生産技術力の向上、管理コストの削減等の合併メリットを追求し、付加価値重視経営へ向けた変革を実践することを目的として、2017年4月1日付で100%子会社であるクリナップ岡山工業株式会社を吸収合併しました。

生産拠点の二極化体制

西日本生産拠点
岡山・津山工場
(2工場)東日本生産拠点
いわき事業所
(8工場)100%子会社の
クリナップ岡山工業株式会社
を吸収合併

主なトピックス

発売から34年！ロングセラーにしてベストセラー



Stainless Cabinet Kitchen

クリンレディ



おかげさまで、クリンレディは販売累計台数が 国内最高販売数160万*セットを突破！

業界初の簡易施工型システムキッチンとして1983年(昭和58年)に発売された「クリンレディ」は、お客様に愛され当社のベストセラー商品として成長し、おかげさまでこの度、販売累計台数が、国内最高となる160万セットを突破しました。発売から34年、ロングセラーにしてベストセラーである「クリンレディ」は、これからもお客様を笑顔にするキッチンとして進化し続けてまいります。

*キッチン・バス工業会データに基づき当社算出

発売10周年

ファンフィルターが自動で
洗・エール
レンジフード

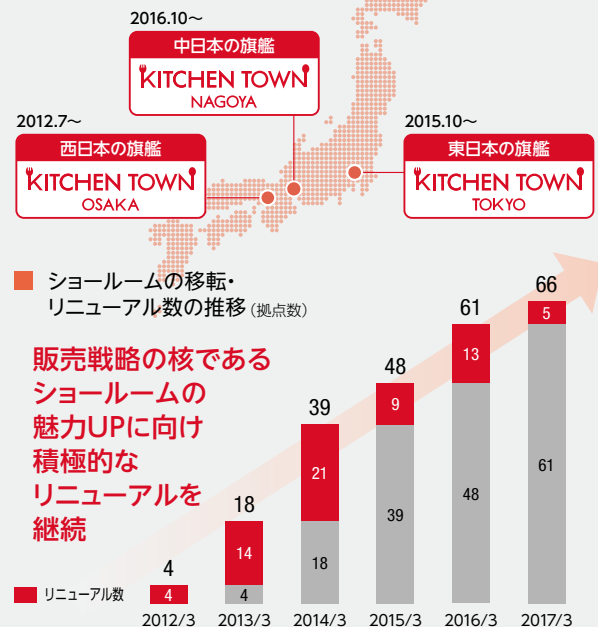
洗エールレンジフードは、2007年の発売からおかげさまで10周年を迎えました。業界で初めてお湯をセットしてボタンを押すだけでフィルターとファンを自動洗浄できる新構造のファンフィルターは、お掃除の悩みを解決。

「洗える」だけでなく、節水・節電もできてお得な点が評価され、2014年度には省エネ大賞「経済産業大臣賞」を受賞しています。

主なトピックス

ショールーム施策

3旗艦&全国ショールーム 102拠点体制



食文化コミュニケーション

短期集中講座 クリナップ×九州大学

「自炊塾」を開講

～産学コラボ、自立への第一歩～

当社は、九州大学とコラボレーションし、学生・新社会人等の若年層向けのセミナー「クリナップ×九州大学 自炊塾」を、クリナップ・キッチンタウン・東京にて開講しました。

「自炊塾」は、「料理を作ることを楽しむ人を確実に増やす」をスローガンに、2013年から九州大学が主催する講座で、各方面から注目を集めています。



キッチンにまつわる生活者実態調査「キッチン白書2017」

「休日は専業主婦も休みたい！」

共働き主婦世帯とは対照的な状態が浮き彫りに

クリナップは日本で初めてシステムキッチンを製造、販売したキッチンメーカーとして、キッチンにまつわる生活者の実態調査を継続的に実施しています。今年度は、2011年に実施した調査の内容を見直し、5年ぶりに実施。調理行動、調理器具の保有実態に関する調査結果を「キッチン白書2017」としてまとめ、公開いたしました。

今回調査した調理行動、調理器具の保有実態からは、6つの傾向(右記)を含め、いくつかの傾向が明らかになりました。

クリナップはキッチンの専門家として、キッチンを進化させ、食や住の明るい生活文化を創造し続けるために、商品開発やお客様へのよりよいサービスの提供にこれらの情報を活かしてまいります。



調査から得られた6つの傾向

料理ジャンル

作る料理ジャンルは年代を問わず和食が1位。ただし、若年層ほど和食の割合が減り、洋食が増える。

時間配分

共働き世帯の主婦は、平日は時短調理派が多いが、休日はじっくり調理派が増える一方、専業主婦は、休日は調理時間が大幅に減少。時間を調理以外に有効活用している傾向。

キッチンの種類

賃貸住宅、独立型キッチンに収納スペース不足を感じている人が多い。

整理収納(保有物)

60代以上で子供の自立などをきっかけとして、大型の調理器具の保有を見直している傾向。

整理収納(場所)

よく使うかどうかで鍋の収納場所は使い分けている。

キッチンにある調理や清掃以外でつかうもの

- 1位 サプリメント
- 2位 文房具
- 3位 医薬品

「キッチン白書2017」はウェブサイトにて公開しています。ぜひご覧ください。

<http://cleanup.jp/oikura/pdf/kitchen-hakusyo2017.pdf>

🔍 キッチン白書 2017

検索

アンケート調査概要

実施期間 2016年4月1日～4月4日
調査地域 全国
調査対象 20～70代の同居家族がいる既婚主婦(離・死別は除く)/居住年数・リフォーム後ともに1年以下を除く
回答者数 1,500名
調査方法 インターネットによるアンケート調査

CSR関連新事業



「クリ夫のパン屋」オープン

～障がい者の新たな雇用を創出～

当社が100%出資する特例子会社 クリナップハートフル株式会社は、心豊かな食住文化を創ると共に、新たな障がい者雇用を創出するため、ベーカリーショップ「クリ夫のパン屋」をオープンしました。この新規事業を通し、新たな雇用の創出に努め、これまで以上に、地域に根差した企業として活動してまいります。

2016年 11/1 OPEN



住所 東京都荒川区西日暮里6-10-11
営業時間 10:30～16:00(定休日:土日・祝日)
店舗面積 56㎡(約17坪)
従業員数 8名
取扱商品 菓子パン、惣菜パン、サンド類など30数種類



連結ハイライト情報／連結部門別情報

■ 連結財務ハイライト

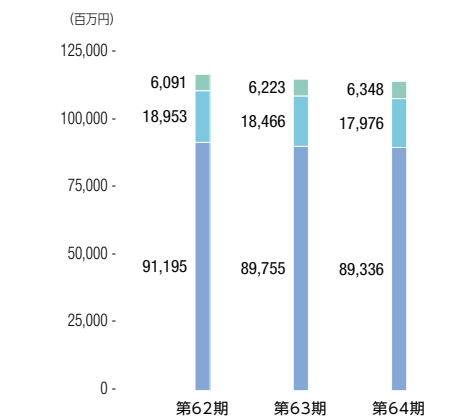
(百万円)

	第62期 2015年3月期	第63期 2016年3月期	第64期 2017年3月期
売上高	116,239	114,445	113,661
営業利益	3,028	1,129	1,989
経常利益	2,703	867	1,795
親会社株主に帰属する当期純利益	883	340	1,339
総資産	86,063	85,871	84,369
純資産	56,509	55,773	52,615

■ 部門別売上高(連結)

(百万円)

	第62期 2015年3月期	第63期 2016年3月期	第64期 2017年3月期
厨房部門	91,195	89,755	89,336
浴槽・洗面部門	18,953	18,466	17,976
その他	6,091	6,223	6,348
合計	116,239	114,445	113,661



厨房部門の主な商品

高級品クラスのシステムキッチン「S.S.」、中・高級品クラスの「クリンレディ」、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されています。

浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリアバス」、普及品クラスの「ユアシス」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されています。

第64期の営業概況

市場環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移したものの、英国のEU離脱や米国の政権交代、新興国の景気減速などがあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅設備機器業界におきましては、相続税対策により貸家の新設住宅着工戸数は堅調だったものの、持家や分譲住宅の動きは鈍くなってきており、低迷しているリフォーム市場と相まって、厳しい状況が続いております。

業績・成果

このような中、当社グループは、『流レールシンク』を標準装備したシステムキッチン「S.S.」や「クリンレディ」、2016年6月に『流レールボールLL』を搭載して新発売した洗面化粧台「ファンシオ」、2016年9月にリフォーム対応力を強化して新発売したシステムキッチン「ラクエラ」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るために、2016年10月に中部エリアの旗艦ショールームとして「クリナップ・キッチンタウン・名古屋」をオープンいたしました。また、全国102カ所のショールームを活用したフェアを開催し、当社の会員

登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、東西の生産バランス再編を踏まえながら、引き続きVE活動(*)を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、前年同期比0.7%減の1,136億61百万円となりました。利益面では営業利益は同76.1%増の19億89百万円、経常利益は同106.9%増の17億95百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同293.2%増の13億39百万円となりました。

*VE活動: VE(Value Engineering)は、商品・サービスの期待される機能・価格を最低コストで確実に達成するための技術であり、VE活動は生産の現場におけるVE実現に向けた取り組み。

第64期の部門別の状況

部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「S.S.」は数量、金額とも増、「クリンレディ」は数量、金額とも減、「ラクエラ」は数量、金額とも減となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比0.5%減の893億36百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも減、「ユアシス」は数量、金額とも減、洗面化粧台においては数量、金額とも増となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比2.7%減の179億76百万円となりました。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の要旨

(百万円)

流動資産 流動資産は前期末比11億35百万円減少し534億98百万円となりました。これは現金及び預金が5億99百万円、電子記録債権が16億30百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が14億72百万円、商品及び製品が13億28百万円、繰延税金資産が1億71百万円減少したこと等によります。

固定資産 固定資産は前期末比3億67百万円減少し308億70百万円となりました。これは有形固定資産が12億88百万円、無形固定資産が1億94百万円減少した一方、投資その他の資産が11億16百万円増加したことによります。

資産合計 総資産は前期末比15億2百万円減少し843億69百万円となりました。

	第63期 2016年3月31日現在	第64期 2017年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	54,634	53,498
現金及び預金	20,297	20,896
受取手形及び売掛金	19,193	17,720
電子記録債権	7,063	8,694
その他	8,121	6,187
貸倒引当金	△ 42	△ 4
固定資産	31,237	30,870
有形固定資産	22,546	21,257
建物及び構築物	9,164	8,911
土地	7,017	7,028
その他	6,365	5,316
無形固定資産	3,024	2,830
投資その他の資産	5,666	6,782
投資有価証券	3,056	4,119
その他	2,665	2,717
貸倒引当金	△ 55	△ 54
資産合計	85,871	84,369

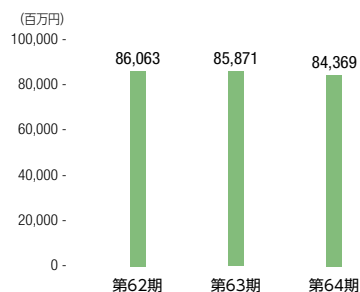
	第63期 2016年3月31日現在	第64期 2017年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	24,258	23,282
買掛金	7,170	6,557
厚生年金基金解散損失引当金	915	—
その他	16,172	16,720
固定負債	5,839	8,470
長期借入金	1,556	3,962
退職給付に係る負債	1,095	1,081
役員退職慰労引当金	416	416
その他	2,771	3,008
負債合計	30,098	31,753
(純資産の部)		
株主資本	54,199	50,897
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	28,889	29,391
自己株式	△ 309	△ 4,113
その他の包括利益累計額	1,574	1,718
その他有価証券評価差額金	877	1,264
為替換算調整勘定	100	35
退職給付に係る調整累計額	597	418
純資産合計	55,773	52,615
負債純資産合計	85,871	84,369

流動負債 流動負債は前期末比9億76百万円減少し232億82百万円となりました。これは1年内返済予定の長期借入金が18億82百万円、電子記録債務が51億63百万円増加した一方、買掛金が6億12百万円、未払金が60億49百万円、厚生年金基金解散損失引当金が9億15百万円減少したこと等によります。

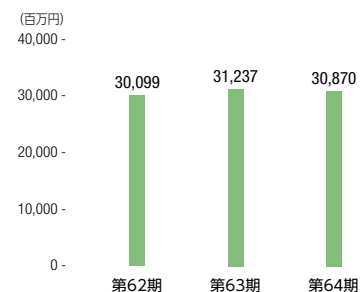
固定負債 固定負債は前期末比26億31百万円増加し84億70百万円となりました。これは長期借入金が24億6百万円増加したこと等によります。

純資産合計 純資産合計は前期末比31億58百万円減少し526億15百万円となりました。これは親会社株主に帰属する当期純利益13億39百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億87百万円、配当金の支払い8億37百万円、自己株式の取得38億5百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前期末の65.0%から62.4%になりました。

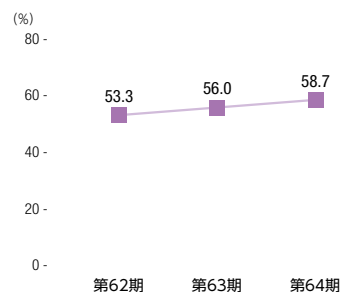
■ 資産合計



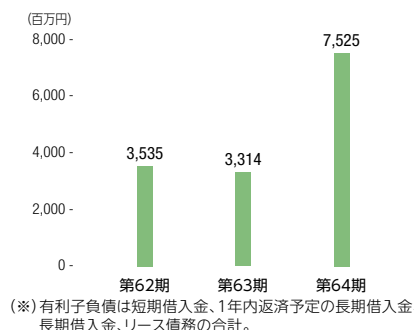
■ 固定資産



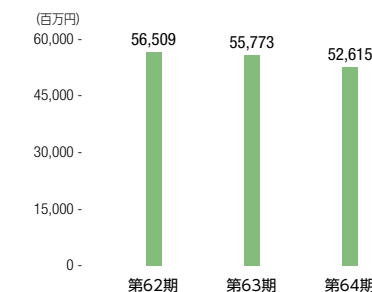
■ 固定比率



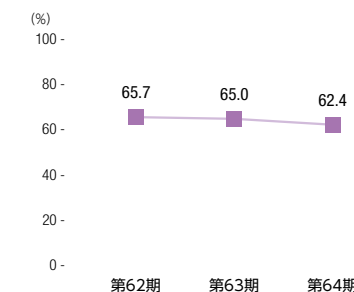
■ 有利子負債



■ 純資産合計



■ 自己資本比率



連結財務諸表

■ 連結損益計算書および連結包括利益計算書の要旨 (百万円)

売上高 厨房部門、浴槽・洗面部門ともに減収となり、売上高は前年同期比0.7%減の1,136億61百万円となりました。

売上原価 ラクエラの原価率がアップした一方で、原価低減がダウンしたこと等により、売上原価率が前年同期比0.1ポイントダウンし67.5%となりました。

販管費 人件費が増加する一方で、広告宣伝費、物流費が減少したこと等により販管費率は前年同期比0.6ポイントダウンし30.8%となりました。

営業利益 売上原価率・販管費率がともにダウンしたことにより、営業利益は前年同期比76.1%増の19億89百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益 親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比293.2%増の13億39百万円となりました。

	第63期 2015年4月 1日～ 2016年3月31日	第64期 2016年4月 1日～ 2017年3月31日
(連結損益計算書)		
売上高	114,445	113,661
売上原価	77,331	76,687
売上総利益	37,114	36,974
販売費及び一般管理費	35,985	34,985
営業利益	1,129	1,989
営業外収益	544	548
営業外費用	805	742
経常利益	867	1,795
特別利益	48	320
特別損失	161	104
税金等調整前当期純利益	754	2,011
法人税等	413	671
当期純利益	340	1,339
親会社株主に帰属する当期純利益	340	1,339
(連結包括利益計算書)		
当期純利益	340	1,339
その他の包括利益	△ 239	143
包括利益	101	1,483

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (百万円)

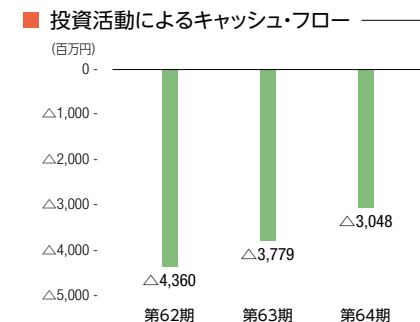
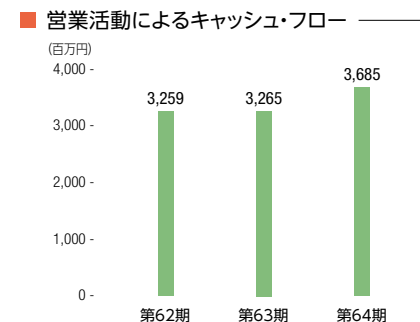
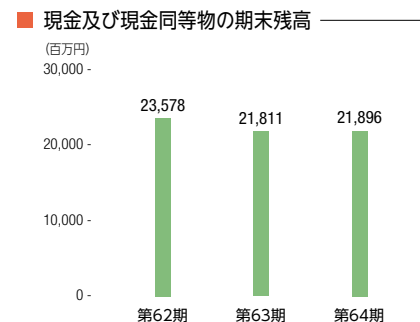
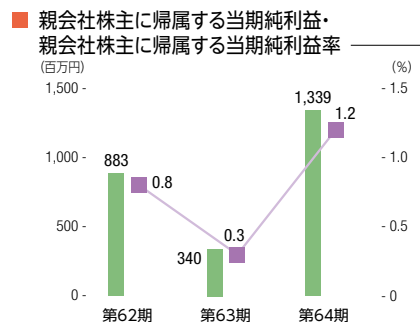
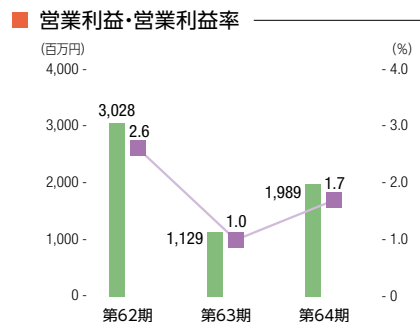
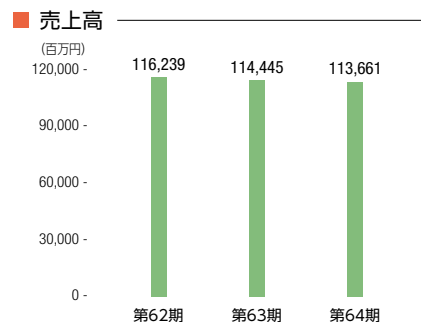
	第63期 2015年4月 1日～ 2016年3月31日	第64期 2016年4月 1日～ 2017年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,265	3,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,779	△ 3,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,230	△ 492
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 22	△ 60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,766	84
現金及び現金同等物の期首残高	23,578	21,811
現金及び現金同等物の期末残高	21,811	21,896

営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動によって得られた資金は36億85百万円(前年同期比12.9%増)となりました。これは税金等調整前当期純利益が20億11百万円、減価償却費が38億19百万円、仕入債務の増加額45億71百万円等があった一方、未払金の減少額59億20百万円、厚生年金基金解散損失引当金の減少額9億15百万円があったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果使用した資金は30億48百万円(前年同期比19.3%減)となりました。これは生産設備の増設及び改修、ショールーム移転・改装等の有形固定資産の取得に伴う支出が12億62百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の支出が7億83百万円、有価証券の取得による支出が9億99百万円、投資有価証券の取得による支出が5億3百万円あった一方、有価証券の償還による収入が5億円あったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果使用した資金は4億92百万円(前年同期比60.0%減)となりました。これはファイナンス・リース債務の返済による支出が1億12百万円、配当金の支払いが8億37百万円、自己株式の取得による支出が38億31百万円あった一方、長期借入金の純増42億88百万円があったこと等によるものです。

現金及び現金同等物の期末残高
これらにより、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ84百万円増加して21億896百万円となりました。



株式関連情報 (2017年3月31日現在)

■ 剰余金の配当について

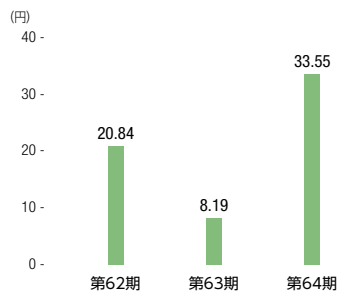
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つと考えております。長期的な安定と成長を実現することにより最大の利益を上げ、安定的な配当を長期的に継続していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、新製品生産設備、営業拠点整備、

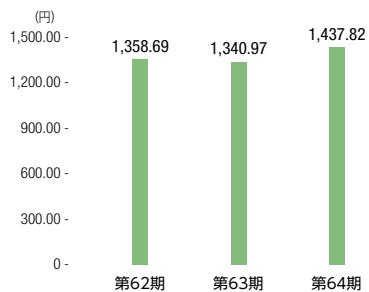
情報基盤整備等の設備投資に充て、効率的な経営による収益力の向上と資本効率の向上に努めてまいります。

なお、期末配当金につきましては、1株当たり10円とし、1株当たり年間20円の普通配当を実施させていただきました。

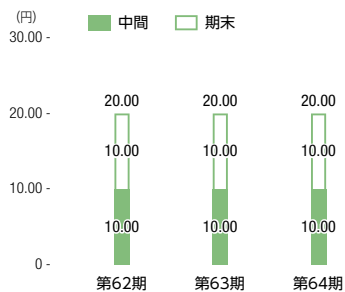
■ 1株当たり純利益



■ 1株当たり純資産額

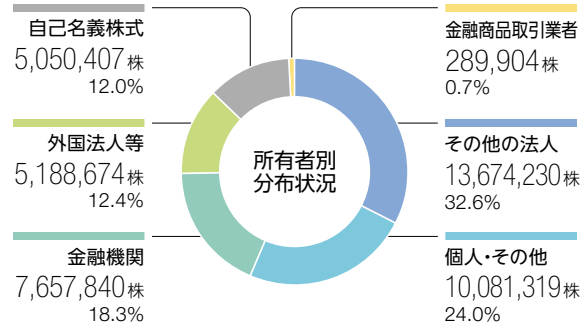


■ 1株当たり配当金



■ 株式の状況

発行可能株式総数 130,000,000 株
 発行済株式総数 41,942,374 株
 株主数 3,979 名



■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
株式会社井上	8,609	23.3
クリナップ真栄会	1,893	5.1
株式会社タカヤス	1,829	4.9
クリナップ社員持株会	1,767	4.7
クリナップ共進会	1,666	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,272	3.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	757	2.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	750	2.0
三菱UFJ信託銀行株式会社	693	1.8
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	629	1.7

(注) 持株比率は、「株式付与ESOP信託口」が保有する自己株式(298,080株)を除いた自己株式(5,050,407株)を控除して計算しております。

会社情報

■ 会社概要 (2017年3月31日現在)

商号 クリナップ株式会社
 Cleanup Corporation
 本社所在地 〒116-8587
 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号
 電話 03-3894-4771(大代表)
 創業 1949年10月5日
 会社設立 1954年10月5日
 上場 1990年2月6日 東証2部上場
 1991年9月2日 東証1部指定
 資本金 132億6,734万円
 主要営業品目 厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他
 社員数 連結：3,533名/単体：2,742名
 主な事業所 支社：国内3カ所
 支店：国内4カ所
 営業所：国内132カ所
 海外：香港、北京、台湾、上海
 工場：四倉、鹿島システム、湯本、クレート、鹿島
 (いずれも福島県いわき市)

■ 役員 (2017年6月28日現在)

代表取締役会長	井上 強一	取締役	川崎 享*
代表取締役社長執行役員	佐藤 茂	取締役	千代田有子*
取締役副社長執行役員	小島輝夫	常勤監査役	山根康正
取締役専務執行役員	藤本 眞一	常勤監査役	山本幸男
取締役専務執行役員	島崎 憲夫	監査役	新谷謙一*
取締役常務執行役員	山田雅二	監査役	有賀文宣*
取締役常務執行役員	竹内 宏		

*は社外

■ ショールーム/全国102カ所

北海道支店ブロック 4カ所 中部支社ブロック 12カ所
 東北支店ブロック 13カ所 関西支社ブロック 26カ所
 東京支店ブロック 28カ所 九州支店ブロック 12カ所
 上信越支店ブロック 7カ所

お近くのショールームをホームページでご確認ください。

<http://cleanup.jp/>

*株主・投資家の皆さまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。

